

平成 30 年度第 1 回作井技術委員会 議事録

作井技術委員会 事務局

平成 30 年 10 月 3 日(火)15:30-17:30

開催場所:国際石油開発帝石株式会社 本社 3401 会議室

出席者:INPEX 松井委員長、JAPEX 筑井、JOGMEC 北村、JX 吉田、秋田大学 長縄、早稲田大学 古井、JMH 池田、アブダビ石油 住廣、伊藤忠石開 坂井、関東天然ガス 大野、千代田化工 藤田、JDC 長久保、深田サルベージ 斎藤、物理計測 中台、シュルンベルジェ 門傳、地熱技術開発 木崎、TIX 窪田、NKK 木下、JFE 田中、新日鉄住金 村瀬、INPEX 藤田、石川(22 名、敬称略)

議題 1:報告事項

- 運営幹事・委員・分科会座長の交代、若手技術者交流会の座長交代
- 分科会活動状況
第 7 回若手技術者交流会を実施予定(平成 30 年 10 月 5 日@JAPEX 本社、テーマは「エネルギー業界の将来予想図 - 今後必要なものは何か」)

議題 2:平成 29 年度作井技術委員会の活動実績概要、平成 30 年度活動状況報告

- 平成 29 年度活動実績(運営幹事会 4 回、作井技術委員会 2 回、若手技術者交流会 1 回)について報告
- 平成 30 年度活動実績(運営幹事会 2 回、作井技術委員会 1 回)、及び今後の予定(運営幹事会 2 回、作井技術委員会 1 回、大水深分科会、若手技術者交流会)について報告

議題 3:平成 30 年度春季講演会作井部門の総括

- 春季講演会の総括(アンケート結果、個人講演について報告)
- シンポジウム原稿・討論録等について報告

議題 4:協会理事会に関する報告

- 第 83 基第 3 回協会理事会(平成 30 年 8 月 21 日実施)について報告

議題 5:平成 30 年度作井技術委員会の活動計画に関する報告

- 平成 30 年度作井技術委員会活動の計画(活動方針、年間スケジュール、活動予算)について報告

特別講演

- 講演演題:「石油ガスセクターのプロジェクトファイナンス」
- 講演者:三井住友銀行ストラクチャードファイナンス営業部、久納 辰也様
- 質疑応答:

【質】担保の観点でみるとプロジェクトファイナンスは試探掘段階では適用されないように思えるがそうなのか?(INPEX 松井氏)

【答】基本的には試探掘井の場合はコーポレートファイナンスが適用され、オペレーションファイナンスは開発段階に対してのみの適用となる。(SMBC 久納氏)

【質】国とオペレーターとの間の関係がサービス契約で結ばれているような場合にはプロジェクトファイナンスは適用されるのか？(INPEX 松井氏)

【答】そのプロジェクトが担保とならない様な場合、例えば銀行側が完工遅延等を理由にオペレーターを交換するという提案が、その国とオペレーター間の契約(例えばサービス契約)によって実現不可能ということが明らかな場合には、プロジェクトファイナンスは成立しない。(SMBC 久納氏)

【質】IFC の規定や赤道原則のような環境に関する規則以外で、銀行側はオペレーターに対して制限をかけるような規定はあるか？(INPEX 松井氏)

【答】統一した基準としては、環境破壊に関する IFC の規定のみで、あとは OECD(経済協力開発機構)のガイドラインに沿ってケースバイケースで付加される。(SMBC 久納氏):

【質】完工遅延を理由に銀行側がプロジェクト側に対してプロジェクトファイナンス解約等の抗議に出ることがあるということだが、どの程度の遅延まで許されるのか？(INPEX 松井氏)

【答】どの程度の遅延で損失が計上されるか、損失が計上される日程とその損失額による。(SMBC 久納氏)

【質】完工保証があるといっても、完工遅延というのはどうしても生じてしまう可能性があるが、どのような対処をとればいいのか？(JOGMEC 北村氏)

【答】リストにも示したが、やはりコンティンジェンシーをみて余裕を持ってスケジュールを建てるといふ事とスケジュール管理が重要。銀行側もそうならない様、アドバイザーを通してスケジュールの妥当性確認を時間をかけて行っている。また、BBB 以上の格付けの信頼できるオペレーター/スポンサーとしか契約しない。プロジェクトファイナンスが適用されるケースは、15-30 年の長期にわたるプロジェクトが主なので、完工が数日遅れたからといってすぐに契約解除にはならないが、事前の緊密な連絡が要求される。(SMBC 久納氏)

以上